

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	8	文化ホール管理費

所管課	生涯学習課
事業名	文化ホール管理費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	16,810	16,810		16,810			16,810	
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	16,810	16,810		16,810			16,810

事業概要	市の文化活動の拠点として、ピアノ発表会やコンサートなど数多くのイベントが開催される文化ホールの管理運営を一般財団法人境港市文化振興財団に指定管理委託し、その管理運営費と建物保険料を予算計上している。	今年度見直し事項	
事業目的	市の文化活動の拠点である文化ホールの管理運営		
現状と背景	指定管理者:一般財団法人境港市文化振興財団 指定期間:平成23年4月1日～平成26年3月31日(3年間)	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	8	文化ホール管理費

所管課	生涯学習課
事業名	文化ホール防水改修等事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	1,117	14,607		14,607			14,607	13,490
財源内訳	国					13,146	13,146	13,146
	県							
	市債			10,900		▲ 10,900		
	その他					1,461	1,461	1,461
	一般財源	1,117	14,607		3,707	▲ 3,707		▲ 1,117

事業概要	① 文化ホールの回廊屋根及び天井、床等の防水工事 ② 文化ホールの外回廊手摺改修 ③ 文化ホール御影石撤去工事 ①～③の設計業務委託	今年度見直し事項	
事業目的	① 文化ホールの回廊屋根・サッシュ廻りから雨漏りしており、防水工事と回廊天井・床の補修工事を行う。 ② 文化ホールの外回廊手摺等が全面的に錆びており、危険なため、手摺改修工事を行う。 ③ 文化ホールのアプローチデッキ石が老朽化により、落下の危険性があるため御影石を撤去する。 ①～③の設計業務委託		
現状と背景	① 平成18年度に約240万円を掛けて、雨漏り改修工事を行ったが、現在も雨量・風向き等により、雨漏りしているため改修工事と、回廊天井・床の補修工事を行う。 ② 外回廊の手摺等が全面的に錆びており、危険なため、改修工事を行う。 ③ 4年前にアプローチデッキ石から雨が落下しており、接合部分にパテを塗り応急措置を行った。石自体に水がかなり吸収されており、落下の危険性があるため御影石を撤去する。 ①～③の設計業務委託	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	8	文化ホール管理費

所管課	生涯学習課
事業名	文化ホール舞台吊物機構改修事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		5,250						
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源		5,250					

事業概要	平成25年度で開館19年目を迎える文化ホールの舞台吊物設備を安全・安定的に使用するため、計画的に改修を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	舞台吊物設備の事故未然防止、今後の安全・安定的な使用。		
現状と背景	開館19年を迎える文化ホールは、現在まで舞台吊物設備の取替等を行ったことが無く、取替の目安期間も大幅に経過している。設備の保守点検結果においても、H22からワイヤーロープ他について、事故発生前に早急に改修すべきであることを指摘されている。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	8	文化ホール管理費

所管課	生涯学習課
事業名	文化ホール調光設備改修事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		12,495						
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源		12,495					

事業概要	平成6年の開館から18年経過し、老朽化した調光(舞台照明)設備の取替工事。	今年度見直し事項	
事業目的	調光(舞台照明)設備の取替により、良好な施設の利用に資する		
現状と背景	平成6年の開館から18年経過した調光(舞台照明)設備に使用している電子部品、電源等は経年劣化や使用状況により寿命に近づいていると共に、すでに生産中止になり、入手困難な部品を多数使用していると推測される。このため、修理対応に多くの時間・経費を要したり、修理不能になった場合、催し物の実施に支障をきたす恐れがある。	その他	